

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（457）
2. 日 時：令和5年2月20日 13時10分～13時40分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、宮本上席安全審査官、片桐主任安全審査官、
藤原主任安全審査官、秋本安全審査官、大塚安全審査官、
小野安全審査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※、他10名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者からオンラインでの面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、オンラインで実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて
- （2）泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて（2月13日提出資料との差異明示版）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はいそれでは泊3号機についてのヒアリングを始めます。説明をお願いします。
0:00:09	はい北海道電力の金岡です。それでは本日お配りしてる資料なんですけれども資料1と資料では本日、江藤栗栖李氏が内容的には同じものとなっております。ただ、資料2の方が前回2月13日から
0:00:25	ご説明した内容からの変更点を、緑雲マークで識別しているのが、資料の2となりますので、そちらの方で説明させていただきます。本日も、
0:00:38	前回からの主な変更点といたしましては、クリティカルパスの繋がりについてですね、今回改めて検討いたしました、
0:00:48	繋がりを見直してございますのでその点、後程ご説明させていただきます。
0:00:54	2点目ですけれども工程バーですけれども長さは伸ばしたものだというのはないんですけれども、通しナンバーの21番の耐津波設計方針のところ、漂流物の影響評価等に関わる場所ですが、
0:01:09	優先順位を踏まえて、スケジュールを削除したものがございまして後程説明させていただきます。
0:01:16	その他といたしましては、吹き出しで、説明を追加して内容説明内容を充実したという見直しを行ってございます。
0:01:25	それでは本文の方になりますが、12ページをご覧ください。
0:01:33	12ページですけれども、
0:01:36	こちらは、
0:01:38	本文の前書きのところになりますので、
0:01:44	全般的に記載の適正化という形で見直しを行っておりますが、今回ここで書いたのは特に下の方に特記事項ということで、
0:01:54	クリティカルパスの考え方を特記事項で明記してございます。特に中でも二つ目のレ点のところになりますけれども、クリティカルパスの周期、こちらを23、2023年12月とした理由を記載してございます。
0:02:11	理由としては、基準津波が当初想定から遅れたこと、あともう一つが、入力津波解析のうち、感度解析が遅れたことによるものというような形で整理してございます。
0:02:24	26ページをご覧ください。
0:02:32	こちら、通しナンバー21番の耐津波設計方針に関わる作業状況のところになりますけれども、こちら先ほどの本文のまえがきと同じように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	表現を見直してございます。
0:02:47	続きましてスケジュール 30 ページをご覧ください。
0:02:53	通しナンバーの 7 番のところになります。こちらは 2 回目の審査会合時期を茂呂 6 月の 5 日の週ですね。
0:03:05	6 月の 5 日の週に設定してございます。
0:03:10	設定して、その説明を追記してございます。これはこれまでの審査会合における指摘事項等、審査結果を踏まえまして、
0:03:21	内容的に回の審査会合を要するものと想定して、2 回設定してございます。
0:03:27	このページ後、赤い太線のところですが、クリティカルパスの変更を行っております、その変更の考え方ですが、
0:03:38	基準津波から耐津波設計方針に繋がるクリティカルパスの起点ですが、従来は資料提出の 2022 年 8 月ですね。
0:03:50	こちらからつなげていたんですけども今回、ナンバー 7 の完了時期 2023 年 6 月、
0:03:58	こちらを起点とするように、見直しを行っております。
0:04:02	これに関連するところで 32 ページをご覧ください。
0:04:10	こちらが通しナンバー 21 番の最津波設計の解析工程のところを三本、赤いラインがあるところですが、
0:04:21	こちらに通しナンバーの 7 番の 6 月の 5 日の週からここに繋がっていると、な、しておりますので、あわせて変更した理由を説明させていただきます。
0:04:34	これまでは、基準津波の確定を待たずに、当社の御リスクとしてですね、後工程である入力津波解析を先行的に進めることで、基準津波の確定の遅れが、全体スケジュールに影響を及ぼさないように、
0:04:51	対策を行ってきております。
0:04:54	しかし、基準津波の確定が遅延したことによりまして、この度、当該対策による基準津波確定の遅れを吸収できない見通しとなっております。
0:05:07	具体的なところですが、基準津波の通しナンバーの 7 番の確定時期、6 月 5 日の週ですが、
0:05:17	それが、ナンバー 7 番の完了から降りてくる、
0:05:22	おりてくる関連線のところですが、通しナンバー 21 番の解析工程のところを見ていただきたいんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:31	こちらが6月の5日の週から降りてきて、平面二次元解析が残り、1ヶ月程度となっております。
0:05:43	ここまでいきますと、
0:05:46	この関連性以降残りの1ヶ月のタスク場も連動してスライドすると、というような状況に今回はなっております。
0:05:56	これらの状況を踏まえまして今回クリックパスのラインを6月の5日の週に見直しております。
0:06:05	続きまして31ページをご覧ください。
0:06:12	こちらは火山の審査会合を2回とした理由をですね、吹き出しで記載しておりますけれども、
0:06:20	津波と同様な理由で審査会合を2回としております。
0:06:26	続きまして32ページをご覧ください。
0:06:35	こちらで今回見直しているところ、通しナンバー21番の上の方に耐震に関わる項目がございます。
0:06:45	2月20日の週ですね2月20日の週の基準地震動の審査会合時期から繋がる関連性を今回、
0:06:55	新たに追加しております。
0:06:58	今回のように、基準地震動の確定時期に連動して、
0:07:04	こちらの対耐震設計の工程もスライドしておりますので、このような状況を反映するというので、
0:07:12	関連性を追加しております。
0:07:16	追加して明確しております。
0:07:18	あとは耐津波に関わる解析機関への追加した吹き出しの部分がございます。
0:07:28	これは、
0:07:29	平面二次元解析の残りの期間、に関わる、1ヶ月程度の残りの期間の説明と、あとは通しナンバー7'の
0:07:41	後工程を見込まない理由ですとか、その影響か、理由として影響確認のみを行うというような趣旨の吹き出しの追加を記載し、追記しております。
0:07:56	等々しナンバー21番、対津波の真ん中辺になりますけれども、漂流物ですとか防波堤、あとは流路縮小工に関する工程、2月から6月の工程になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:11	基準津波確定後に説明するものですか、優先順位を見極めるようなものがございますので、そういったものはスケジュールを今回は削除しているという見直しを行ってございます。
0:08:25	その他このページにつきましては、吹き出しで解析ですか、審査会合を設定する理由、そういったところの説明を、
0:08:35	表現を適正化するというような見直しを全般として行ってございます。
0:08:40	最後 33 ページをご覧ください。
0:08:48	緑雲マークがついているところですがけれどもこちらは、アクセスルート最後の説明事項であります、周辺斜面の安定性評価のところになりますけれども、
0:09:01	クリティカルパスの周期についての工程影響ですとかリスクについて、今回、吹き出しを追加しております。
0:09:11	現状では、クリティカルパス、クリティカル工程に収まる見込みですがけれども、収まる見込みですがけれども、どんなリスクがあるのかといったところまで、今回記載してございます。
0:09:24	主な変更点は以上となります説明は以上です。
0:09:31	はいありがとうございます原子力規制庁の宮本ですそれではちょっと確認です 12 ページいきまして、ちょっと具体的に日数を教えてください。日数とか期間を教えてくださいということで、
0:09:42	当初想定よりさらに後ろ倒しになった要はその基準津波の確定型の後になったことってこれはどの程度後になったんでしょうか。
0:09:51	はい。北海道電力の金岡です。
0:09:54	基準津波の確定により、確定の遅れが後ろ倒しになった期間といたしましては約 1 ヶ月程度と。
0:10:05	ございません。
0:10:08	少々お待ちください。
0:10:13	北海道電力の金岡です。申し訳ございません。基準津波の工程の遅れに関しましては約 6 ヶ月の遅れとなっております。以上です。
0:10:23	はい。入力津波解析工程が遅れたっていうのはこれはちょっとこれ今まであんまり聞いてなかったんですけど、これはどれぐらい遅れたんですか。
0:10:39	大道電力の高橋です。入力津波の方については、12 月に基準津波が決まるというふうに、想定してた時に比べると、1 ヶ月程度でございます。
0:10:54	はい。ですねそれでちょっと全体的なやつで一番わかりやすいのが、32 ページ等で 32 ページの方の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:03	確認なんですけど、これは前回から見せていただいているので理解はして るんですけど、
0:11:08	当初、7番じゃなくて8月の
0:11:13	8月から8月の7番から落ちてきてるやつが多分クリックある。
0:11:22	それが今回6月からおりてくる7番になりましたということで、それが 下がってきたのはいいんですけど、これが6ヶ月遅れてますよっていう ことになっているんですけどそれが、
0:11:34	下に来て、
0:11:39	入力津波の解析。
0:11:41	のところで、
0:11:43	結局、
0:11:46	ここがどれくらい遅れたのか、今、その全体的な話で言われてるのはあ れなんですけど、
0:11:53	もともと7'からよくわかんないけど7月の10日ぐらいで終わるやつ が、
0:12:00	解析モデルの作成入力津波の平面2解析欠席解析が、
0:12:06	4月の10日の週で終わる予定だったのがどんどん後ろに下がって7月、
0:12:11	10日になりましたと。
0:12:14	そういう認識でいいですよ。まず、
0:12:19	北海道電力の高橋です。ご認識の通りで結構でございます。あとはその 下のやつが、
0:12:26	津波の流向流速及び漂流物解析が、
0:12:31	これはおそらく2週間ぐらいしか後ろに行っていないですよこれね、違 う分と、
0:12:37	これは6月の頭だったやつが、
0:12:41	7月の終わりになったそ、そういうことですかね。
0:12:47	その通りでございます。
0:12:49	で、
0:12:50	そうすると、この
0:12:54	ちょっとね、これ全体的に見にくいんですけど、
0:12:57	基準津波の影響で、まず、
0:13:01	この三本線が遅れた期間中だって1月半ぐらいじゃないかなと思うん です。そういう認識でいいですか。
0:13:08	はいその認識で結構でございます。はい。
0:13:14	そのあとの上と下に行く、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:18	菅野菅関か踏まえた妥当性隔離。
0:13:21	これの全体が一つ半ぐらい遅れたってそういうことですか。
0:13:28	はい、北海道電力の高橋ですその通りでございますんで合わせてこれが3ヶ月になりましたっていうそういうことですね。
0:13:37	はい。その通りでございます。
0:13:42	はい、わかりました。
0:13:45	ここままで何か確認あればお願いします。
0:13:53	規制庁の天野ですちょっと何点か確認なんですけど、今、今のまず今の点で
0:14:00	ハザード側の高齢で江藤1.5ヶ月で、そのあとの工程で1.5ヶ月という説明と、その前に言った1ヶ月とか6ヶ月って、
0:14:13	ちょっと
0:14:14	関係性を確認したいんですけど、さっき言った6ヶ月とか1ヶ月っていうのは具体的に言うと、
0:14:21	特に6ヶ月ですね、どこのことをさして言ったのかっていうのと関係を、
0:14:28	ちょっともう1回教えてもらえますか。
0:14:31	はい。北海道電力の石川でございますちょっと今の天野さんのご指摘を踏まえて、最初からもう、整理させていただきますと、まず、12月に基準津波が確定すると言っていた。
0:14:46	それが、今回は6月で押しし、お示ししてるところで概ね6ヶ月遅れていると。でも今回は最終のクリティカルパスの周期が、
0:14:56	6ヶ月遅れたんじゃないなくて9月から12月になってると。これ3ヶ月遅れてると。
0:15:01	この3ヶ月の差は何かっていうと、今まで私たちがですね入力津波解析等について先行して、基準津波を、が決まる前から着手していた。
0:15:13	で、それによって吸収できた分が、3ヶ月という計算になります。で、じゃあ残った3ヶ月が、どこで吸収できなかったのかっていうのが、
0:15:23	先ほど宮本さんがお話してくださったところであります通り、入力津波解析それから管路解析のところ、大体ここ1ヶ月弱週でいくと4週間、
0:15:37	遅れてるとい形になってます。そのあとその次にですね、下の方の管路解析結果を踏まえた妥当性確認。
0:15:47	これは期間そのものは、変わってないんですけども、クリティカルパスの線が、上から降りてきてからの期間が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:57	長くなっていると。これ数えますと、11 週間、これで 2 ヶ月強と。先ほどの 1 ヶ月半と 1 ヶ月半って何となくそういうふうには話が流れてたんですけども、
0:16:07	正確に言いますと、上の方の大きい入力津波解析が遅れてたのが 4 週間、それから下の感度解析結果を踏まえた妥当性確認のところクリティカルパスの線が刺さってから、
0:16:20	の長さが、2 ヶ月強ということで 11 週間と合わせて、3 ヶ月、そういう整理になります。
0:16:30	規制庁の天野です。わかりました前半が入力津波の解析で、4 週間で後段管路解析を踏まえたって言ってますけど各解析結果を踏まえた妥当性確認として 11 週間、
0:16:47	という
0:16:49	各解析結果っていうの間違いということよろしいですか。
0:16:55	北海道電力の石川でございます
0:16:57	各解析結果ではなくてですね、一番下の内容欄でいきますと 21 番の一番下の方になりますが、取放水炉からの流入防止、括弧
0:17:10	流路縮小工、逆流防止設備って書いてある欄のところに、管路解析結果を踏まえた妥当性確認っていう 9 ピンクのバーがございますけども、そのことを指しております。
0:17:24	規制庁の室ですわかりました。
0:17:27	あと、念のため確認ですけど本文の 12 ページで、この特記事項の二つ目で、
0:17:34	今、ハザード側と感度解析の話が代表として書かれてるんですけど、
0:17:42	衛藤と藤っていうのは何かありますか。
0:17:47	すいません。ちょっとですね、マイクっていいですか通信が悪くなったので、今画像を切らさせていただきます。少し前の天野さんの
0:17:58	ご発言がとぎれとぎれ聞こえなかったもので、恐れ入りますがもう一度お願いしますちょっと画像切ってくださいませんか。
0:18:05	はい。規制庁の天野です聞こえますか。
0:18:10	はい。今は大丈夫です。はい。その理由として 12 ページの本文の特記事項の二つ目のチェックのところ 2、基準津波の
0:18:21	話と入力
0:18:23	津波の感度解析の話があつてと、等と書いてあるんですけど、と等として何か、
0:18:29	含まれるものは何かありますかという確認です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	だとします。
0:18:39	北海道電力の高橋です。もう一つは先ほど石川の方がご説明しました、管路解析結果を踏まえた妥当性確認。
0:18:50	こちらが先ほど 11 週ほど後になってるってということで等についてはこちらのことを指してございます。
0:18:57	規制庁の天野諏訪わかりましただから 3 段階ってことですね、ハザードと感度解析と、あと感度解析を踏まえて妥当性確認と、
0:19:08	ということですね。
0:19:12	北海道電力の高橋です。おっしゃる通りでございます。
0:19:16	わかりました。あと、ちょっと直接今の話と関係しないんですけど 27 ページ、
0:19:24	通しナンバー 22 の作業状況を更新していただいたんですけども、
0:19:31	これちょっと、あの人シキイの確認なんですけど
0:19:35	平面線形形状の変更の可能性がないっていうのを、
0:19:40	説明中から説明済みに変えてるんですけど。
0:19:44	これ確かにゆ入構ルートの
0:19:48	説明についてはまだ
0:19:52	余裕の考え方とか、
0:19:54	11 月 1 日の会合の指摘事項の回答はまだ、
0:19:58	残っていて、そのあたり、
0:20:02	全般的に説明がしきれないと。
0:20:06	全部終わらないんじゃないかと思うんですけど、ここの辺り、
0:20:13	変えた趣旨というか、
0:20:15	認識は合ってるんでしょうか。
0:20:22	はい。北海道電力の石川でございます。大変失礼いたしました
0:20:26	ステータスとしましては今、天野さんが整理してくださった通りでございますので、ご説明済みっていうのはちょっと言い過ぎ。
0:20:35	ちょっと事実と異なるということになりますので、これはお詫びして訂正させていただきたいと存じます。
0:20:42	何でこれだけ。
0:20:43	はい。規制庁の浜野です。わかりました。私から以上です。
0:20:50	はい他何かないでしょう。
0:20:53	じゃなければこのスケジュールについては、はいこちらの方で確認しました。あとですねちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:00	全体のスケジュールの細かいところではない、細かいとか全体のスケジュールではないんですけど、今事業者の方で例えば33ページ、SABというのは、比較的精力的にヒアリング等、
0:21:14	入っていて、概ね
0:21:19	し推移してるかなと思うんですけど
0:21:22	流路縮小工とか、耐津波の関係のやつが、2月、特に3月はあんまりヒアリングが入ってなくてですね。
0:21:30	これは、
0:21:31	あんまり進んでないんですかね、3月、4月3月特にあんまり入ってない感じがするんですけど。
0:21:38	対津波関係って、ちょっと結構空いてるような気がするんですが、これは事業者としてもそれは認識してますかね。
0:21:47	北海道電力の高橋です。耐津波設計につきましては、3月の16日の週に会合を当初お願いしてございましたけれども、
0:21:59	3号の流路縮小工の御説明がもう1回お願いしたいということで3月後半と、
0:22:06	いうふうにしたものと、あと漂流物関係についても、ご説明しようとしてございましたけれども、こちらにつきましては、
0:22:17	流向流速等の解析結果とともにご説明する方が、効率的と。
0:22:23	優先事項を考えて、層厚を変えたことによって、耐津波設計の方について少し間があいていると、そういった認識は我々も思っております。
0:22:38	原子炉規制庁宮です。わかりました少し、例えば
0:22:43	この前々回から12号の流路縮小工とかああいうものっていうのはある程度全部がまとまった段階で出すのかそれとも全体的な考え方の時点で一度こっちに確認するのかとか、
0:22:57	他の条文でもよく段階的なヒアリングとかもやっているの、そういうのをよく考えた上で進めていただいた方が、効果的かなと思いますので事業者等よくそこは確認してください。いいですかね。
0:23:11	北海道電力の高橋です。今おっしゃっていただいた通り、我々も全部できてからっていうことでまた時間をかけても仕方がないというふうに思っ
0:23:23	いうのと、こちらについては少しでも早くクリティカルパスになりますので、ご説明していかなくちゃいけないというふうに認識しているところですので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:35	今後準備できましたら、日程等含めてご相談させていただきたいというふうに思っています。はい、わかりました。ほか、なければこれでヒアリングの方を終了したいと思いますけど、北電の方から何かいうことありますか。
0:23:52	はい。北海道電力の石川です。あと北電からは特にございません。
0:23:57	はい。ありがとうございましたそれではヒアリングの方を終了したいと思います。ありがとうございました。
0:24:03	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。